

- (9) 接合にあたっては、シーリング剤の溶剤が蒸発するよう数分間置くこと。
- (10) 継手は「給水装置用材料名簿」に示す防食継手を使用すること。
- (11) 接合は、管口径に適したパイプレンチを使用し、適正なトルクで締付けを行うこと。

トルク値

表-16.4 単位：kgf・cm(N・cm)

呼び径(A)	標準トルク値
	kgf・cm(N・cm)
15	400 (3,920)
20	600 (5,880)
25	1,000 (9,810)
32	1,200 (11,800)
40	1,500 (14,700)
50	2,000 (19,600)
65	2,500 (24,500)
80	3,000 (24,500)
100	4,000 (39,200)
125	5,000 (49,000)
150	6,000 (58,800)

備考 JWVA K116 解説表(参考)による。

- (12) 通水は、24時間乾燥(常温)した後、行うこと。

3 ビニル管の施工

- (1) 硬質塩化ビニル管・耐衝撃性硬質塩化ビニル管の接合

ビニル管の接合は、接着剤を用いたTS継手、ゴム輪型継手、メカニカル継手を使用する。

① TS継手による接合

ア. 接着剤は、均一に薄く塗布する。

イ. 接着剤を塗布後、直ちに継手に挿し込み、管の戻りを防ぐため、口径50mm以下は30秒以上、口径70mm以上は60秒以上そのまま保持すること。

ウ. はみ出した接着剤は、直ちに拭きとる。

接着剤は、速乾性(JWVA S 101)「水道用硬質塩化ビニル管の接着剤」、「耐熱性硬質塩化ビニル管用の接着剤」を用いること。

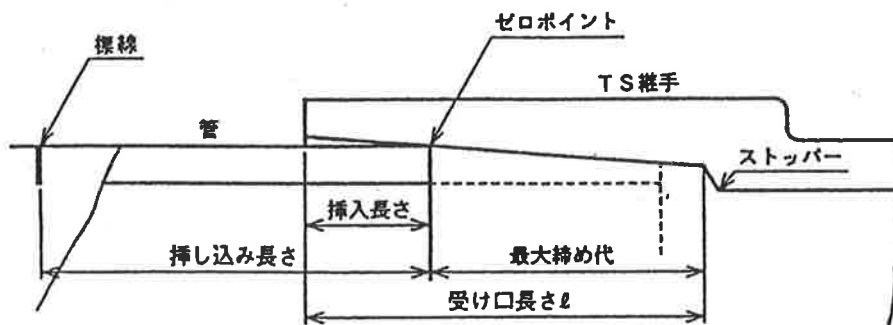


図-16.14 TS継手の接合

② ゴム輪形継手による接合

- ア. 管の切断面は面取りを行う。
- イ. ゴム輪とゴム輪溝、管挿し口の清掃を行う。
- ウ. ゴム輪は、前後反対にしたり、ねじれないように正確に装着する。
- エ. 挿し込み荷重を軽減するため、ゴム輪及び挿し口の表示線まで、専用の滑剤を塗布する。
- オ. 接合は、管軸を合わせた後、一気に表示線まで挿し込む。
- カ. 接合後、ゴム輪のねじれ、離脱がないかチェックゲージを用いて全円周を確認する。
- キ. 曲管の接合部は、水圧によって離脱するおそれがあるので、離脱防止金具又はコンクリートブロックにより防護すること。

③ メカニカル継手による接合

- ア. 管理者が指定した継手を使用する。
- イ. 継手を組み込む際、部品の装着順序に注意する。
- ウ. 継手は、適切な挿し込み深さを確保し、確実に締め付ける。

④ 作業上の注意事項

- ア. TS継手の場合、接合後の静置時間は十分に取り、この間は接合部分に引っ張り及び曲げの力を加えてはならない。
- イ. メカニカル継手の締め付けは確実にを行い、戻しは漏水の原因になるので避けること。
- ウ. 管の切断は、管軸に対して必ず直角に行い、面取りを行うこと。
- エ. 挿し口は挿し込み長さを確認するための表示を行うこと。

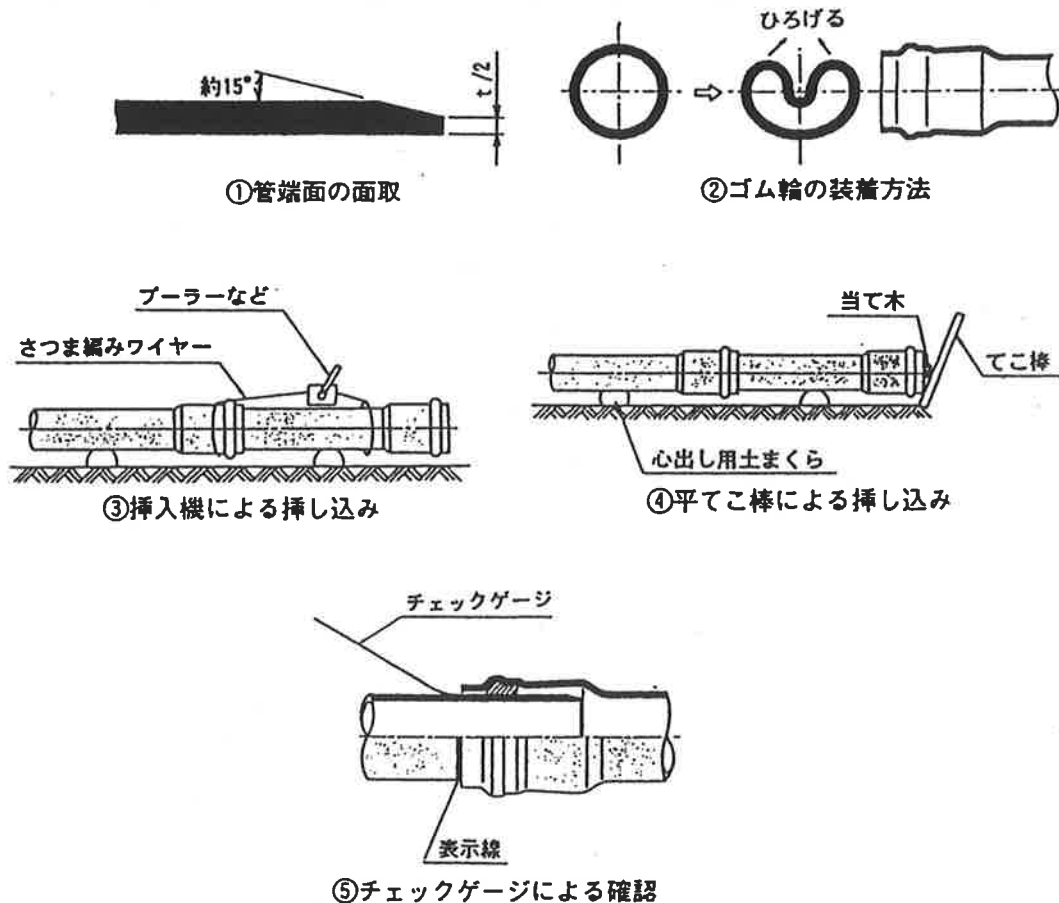
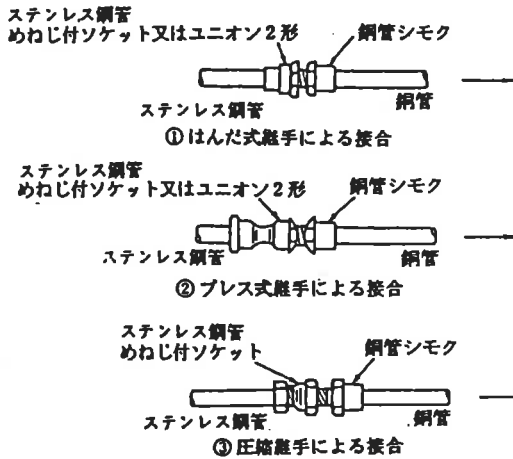


図-16.15 ゴム輪形継手の接合

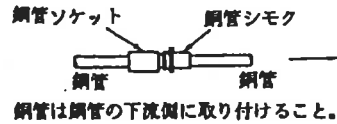
資料

材質が異なる給水管の接合 (例)

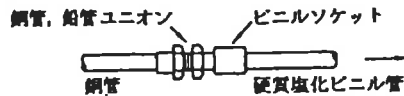
(1) ステンレス鋼管と鋼管



(2) 鋼管と鋼管

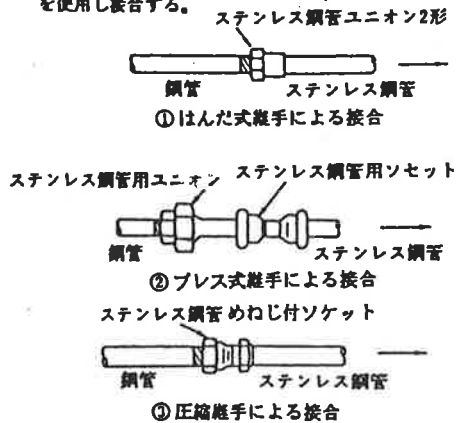


(3) 鋼管と硬質塩化ビニル管

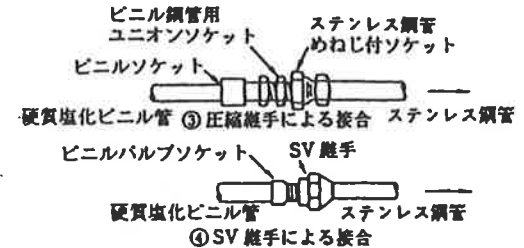
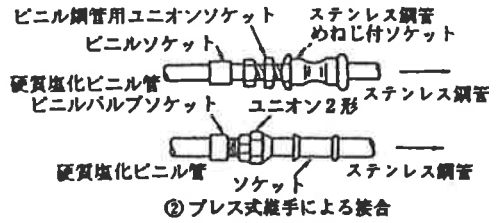
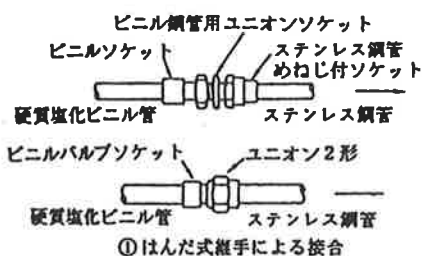


(4) 鋼管とステンレス鋼管

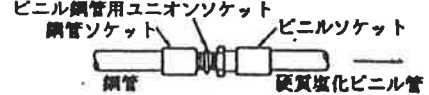
金属電位差による腐食を防止するため、必ず次の継手を使用し接合する。



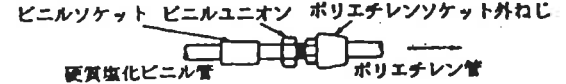
(5) 硬質塩化ビニル管とステンレス鋼管



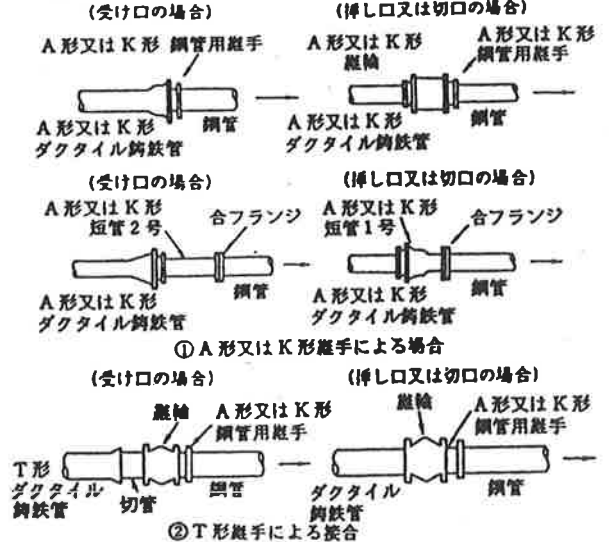
(6) 鋼管と硬質塩化ビニル管



(7) 硬質塩化ビニル管とポリエチレン管



(8) ダクタイル鉤鉄管と鋼管



(9) ダクタイル鉤鉄管と硬質塩化ビニル管

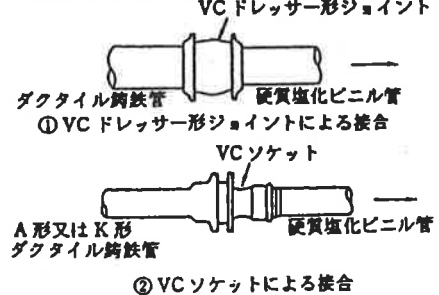


図-16.16

26. 道路復旧標準図

国道路面復旧及び埋設深度標準図

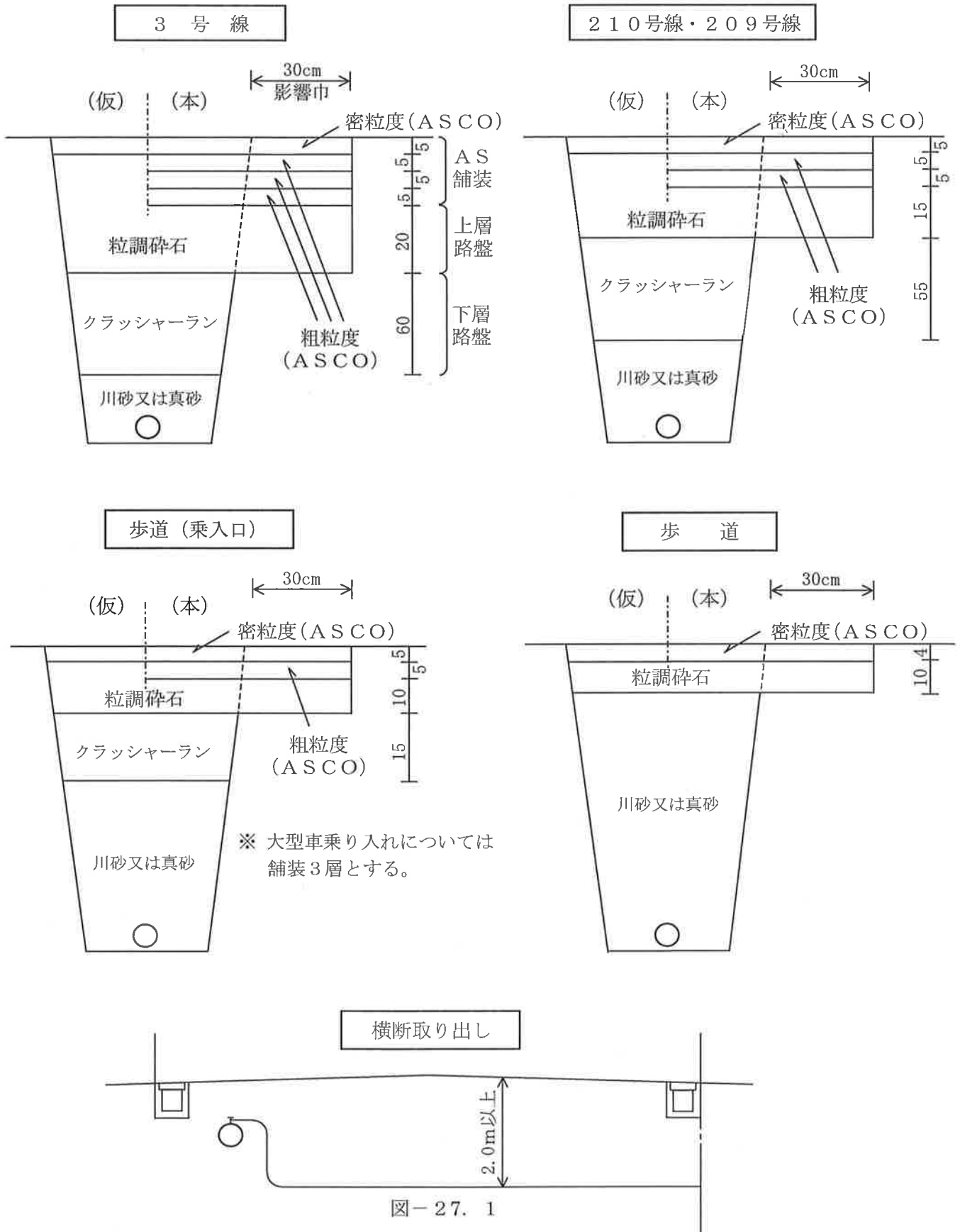


図-27.1

国道路面復旧参考図

国道 3 号線・国道 210 東合川バイパス (車道部)

表層 (密粒度Gアスコン改質II型)	↑	50
中間層 (粗粒度As・改質II型)	↓	50
中間層 (再生粗粒度As)	↓	50
基層 (再生粗粒度As)	↓	50
上層路盤 (粒調碎石)	↓	200
下層路盤 (クラッシュラン、切込碎石)	↓	400
真砂土		

国道 209 号線・国道 210 号線 (車道部)

表層 (密粒度アスコン)	↑	50
中間層 (粗粒度As)	↓	50
基層 (粗粒度As)	↓	50
上層路盤 (粒調碎石)	↓	100
下層路盤 (クラッシュラン、切込碎石)	↓	400
真砂土		

国道 209 号線バイパス (車道部)

表層 (高粘度改質アスコン)	↑	50
中間層 (再生粗粒度アスコン)	↓	50
基層 (再生粗粒度アスコン)	↓	50
上層路盤 (再生粒調碎石)	↓	100
下層路盤 (再生クラッシュラン)	↓	200
路床	↓	1,000

国道 209 号線バイパス (歩道部)

表層 (透水性アスコン)	↑	40
基層 (再生密粒度アスコン)	↓	30
路盤工 (再生クラッシュランRC-40)	↓	70

車道部 仮復

表層 (粗粒度アスコン)	↑	50
上層路盤 (粒調碎石)	↓	200
下層路盤 (クラッシュラン、切込碎石)	↓	400
真砂土		

歩道部 仮復

表層 (密粒度アスコン)	↑	30
再生クラッシュラン	↓	110
真砂土		

歩道部 本復

表層 (密粒度アスコン)	↑	40
再生クラッシュラン	↓	100
真砂土		

タイル舗装復旧

タイル	30
均しモルタル	20
生コン (18-8-20)	200
溶接金網 φ150×150	200
再生クラッシャー	200

歩道コンクリート舗装

コンクリート (18N-40~20-8)	70
クラッシャー	100

- ※ 歩道乗り入れ部については問い合わせください。
- ※ 透水性舗装については問い合わせください。
- ※ 乗入れ部については問い合わせください。

インターロッキング舗装 (一般部)

インターロッキング	60
敷砂	30
クラッシャー	100

排水性舗装

排水性舗装	50
粗粒 (20) 改質工型	50
粗粒 (20)	50
瀝青安定処理	10
流調碎石	150
クラッシャー	350

排水ドレン

- ※ 排水ドレンはφ25mm 以上のスプリング管又は網状管と同等以上とし、耐熱・耐圧変形・耐候性が施されているものを使用すること。

水性舗装復旧参考図

歩道舗装 (一般部)

表層 (透水性舗装As)	40
路盤 (再生クラッシャー)	100
フィルター層	70

乗り入れ舗装Ⅰ種

表層 (透水性舗装As)	50
上層路盤 (再生クラッシャー)	150
フィルター層 (砂)	150

乗り入れ舗装Ⅱ種

表層 (排水性舗装As)	50
基層 (再生粗粒度As)	50
上層路盤 (再生粒調碎石)	100
下層路盤 (再生クラッシャー)	150

乗り入れ舗装Ⅲ種

表層 (排水性舗装As)	50
中間層 (再生粗粒度As)	50
基層 (再生粗粒度As)	50
上層路盤 (再生粒調碎石)	100
下層路盤 (再生クラッシャー)	200

県道路面復旧標準図

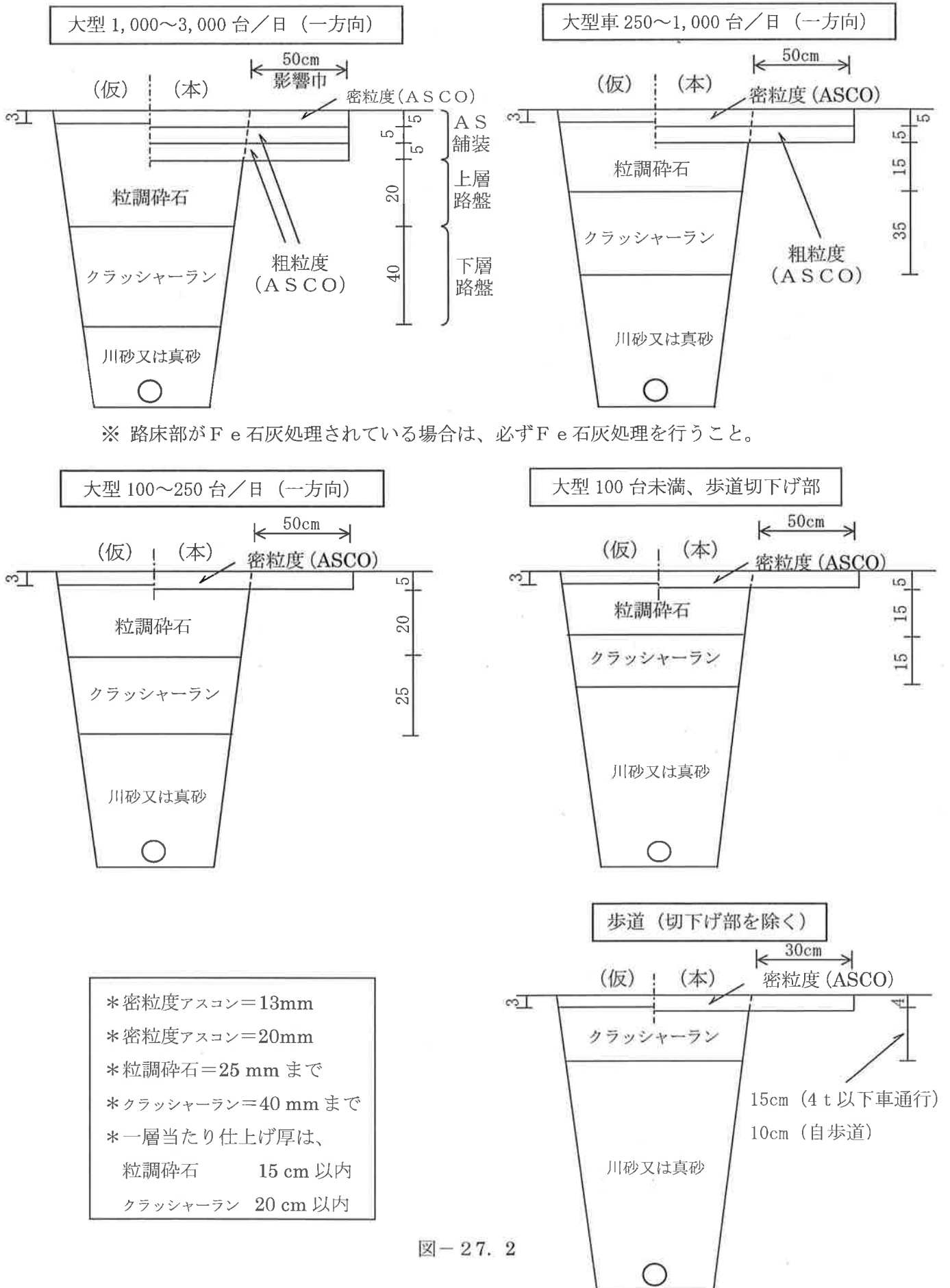
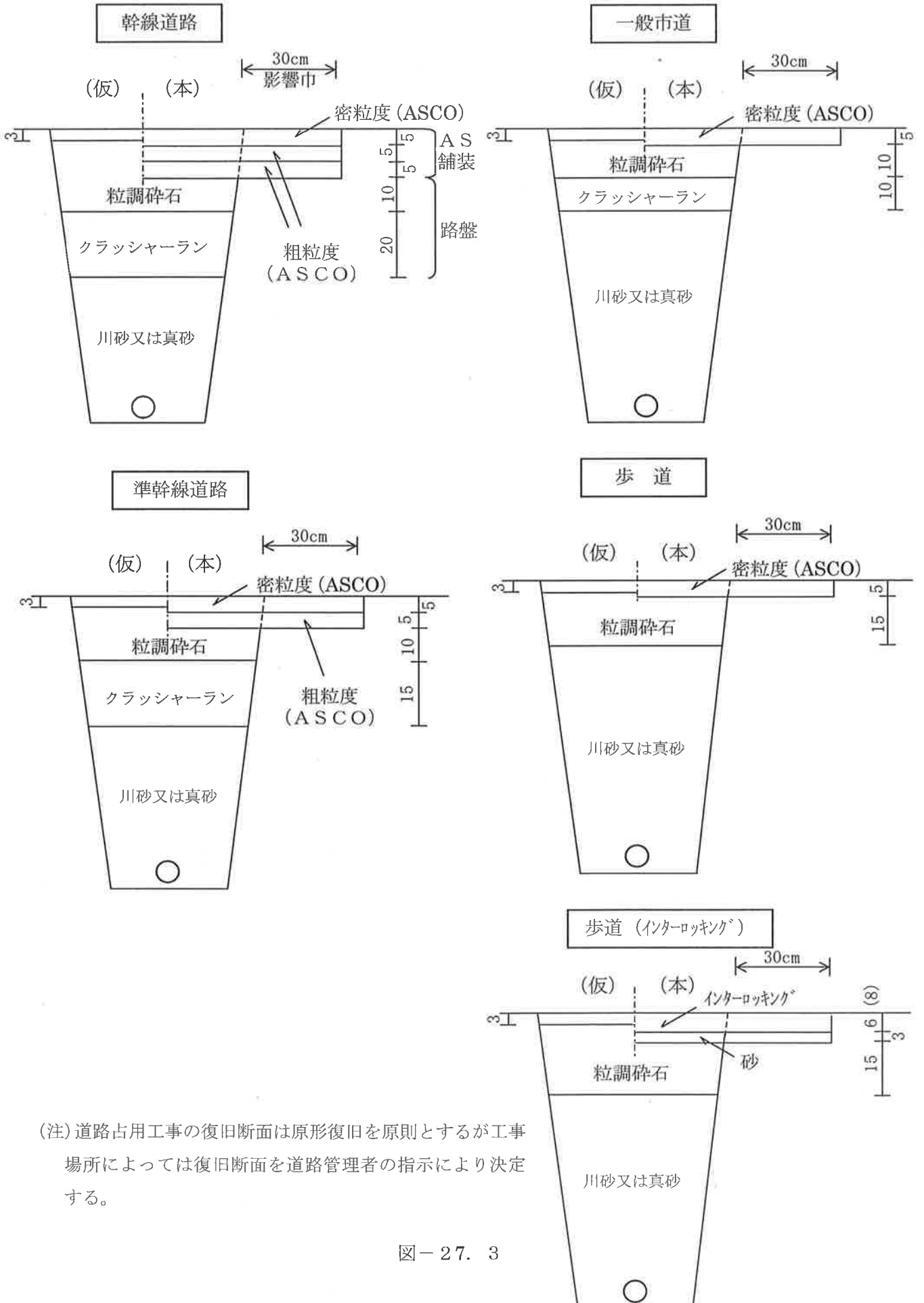


図-27.2

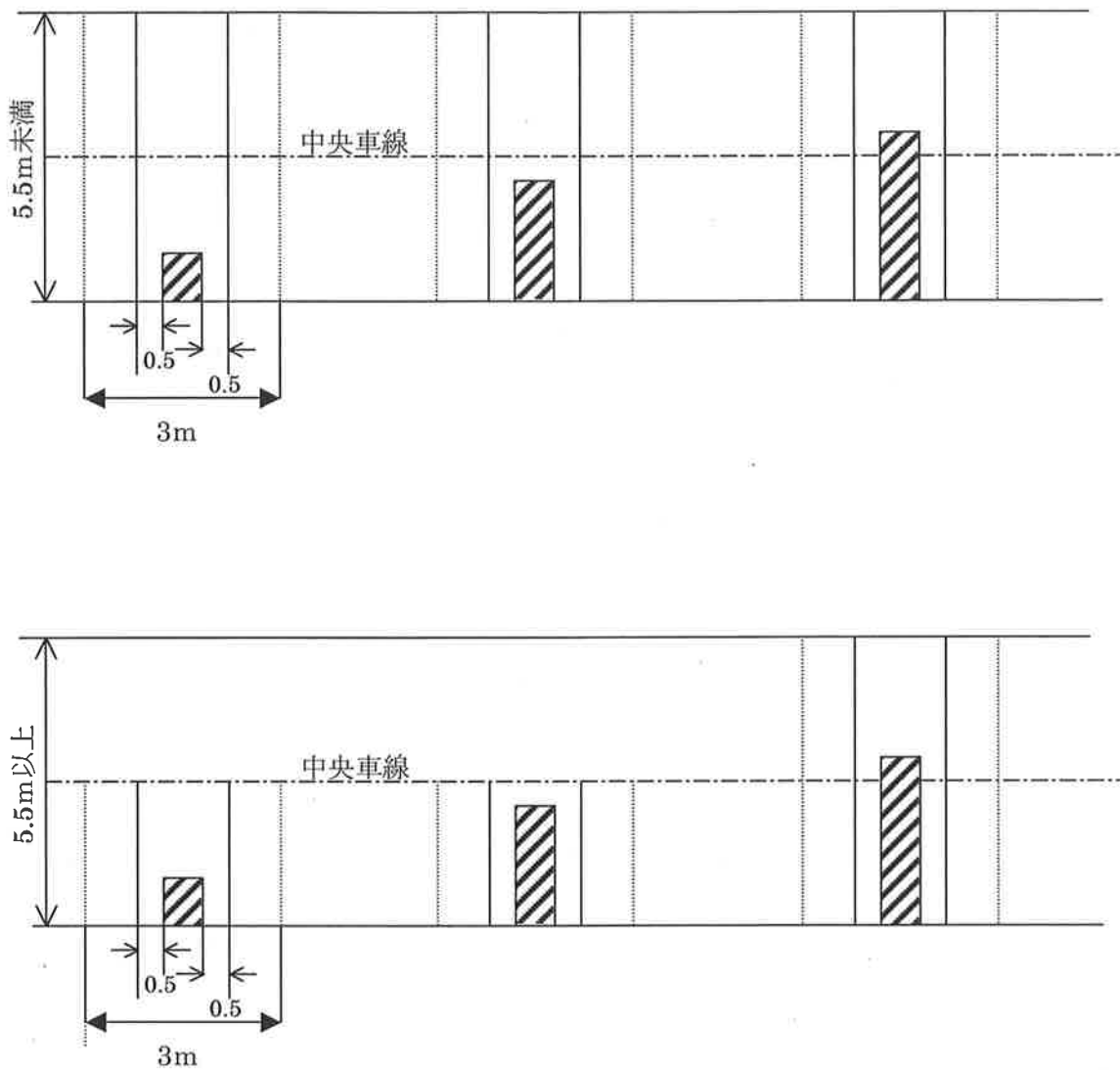
市道路面復旧標準図



(注) 道路占用工事の復旧断面は原形復旧を原則とするが工事場所によっては復旧断面を道路管理者の指示により決定する。

図-27.3

県道復旧基本図（破線は舗装後3年未満の復旧幅で3m）

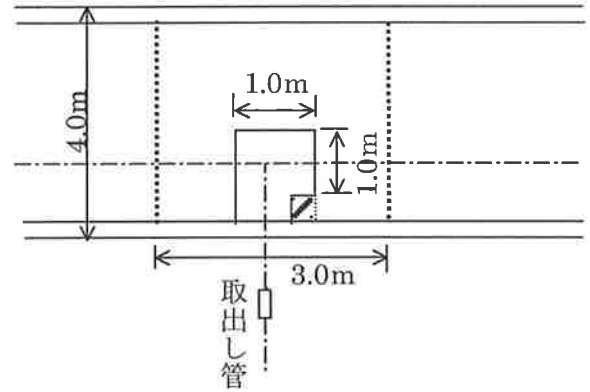
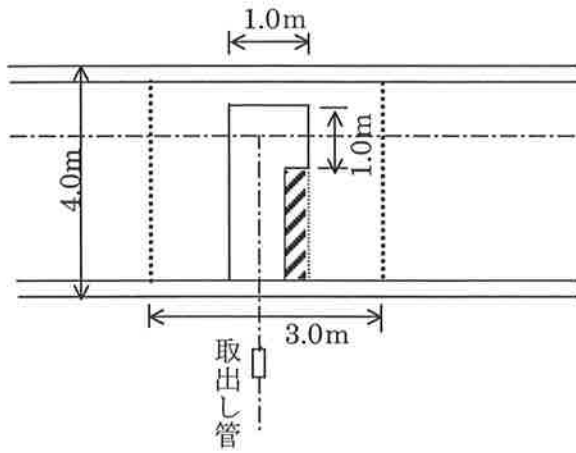


- * 歩道は全復旧すること。
- * 車道は車線単位で復旧すること。ただし、車道の復旧幅が、5.5メートルに満たないときは全復旧すること。

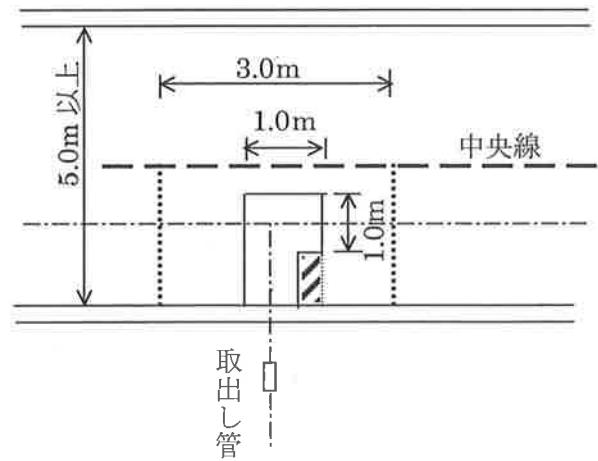
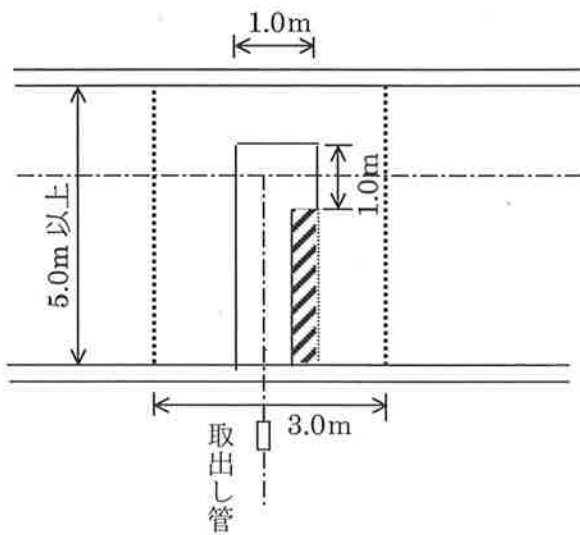
図一27.4

市道復旧基準図（舗装後3年未満）

㊦ 幅員 5 m 未満の道路の復旧



㊧ 幅員 5 m 以上の道路の復旧



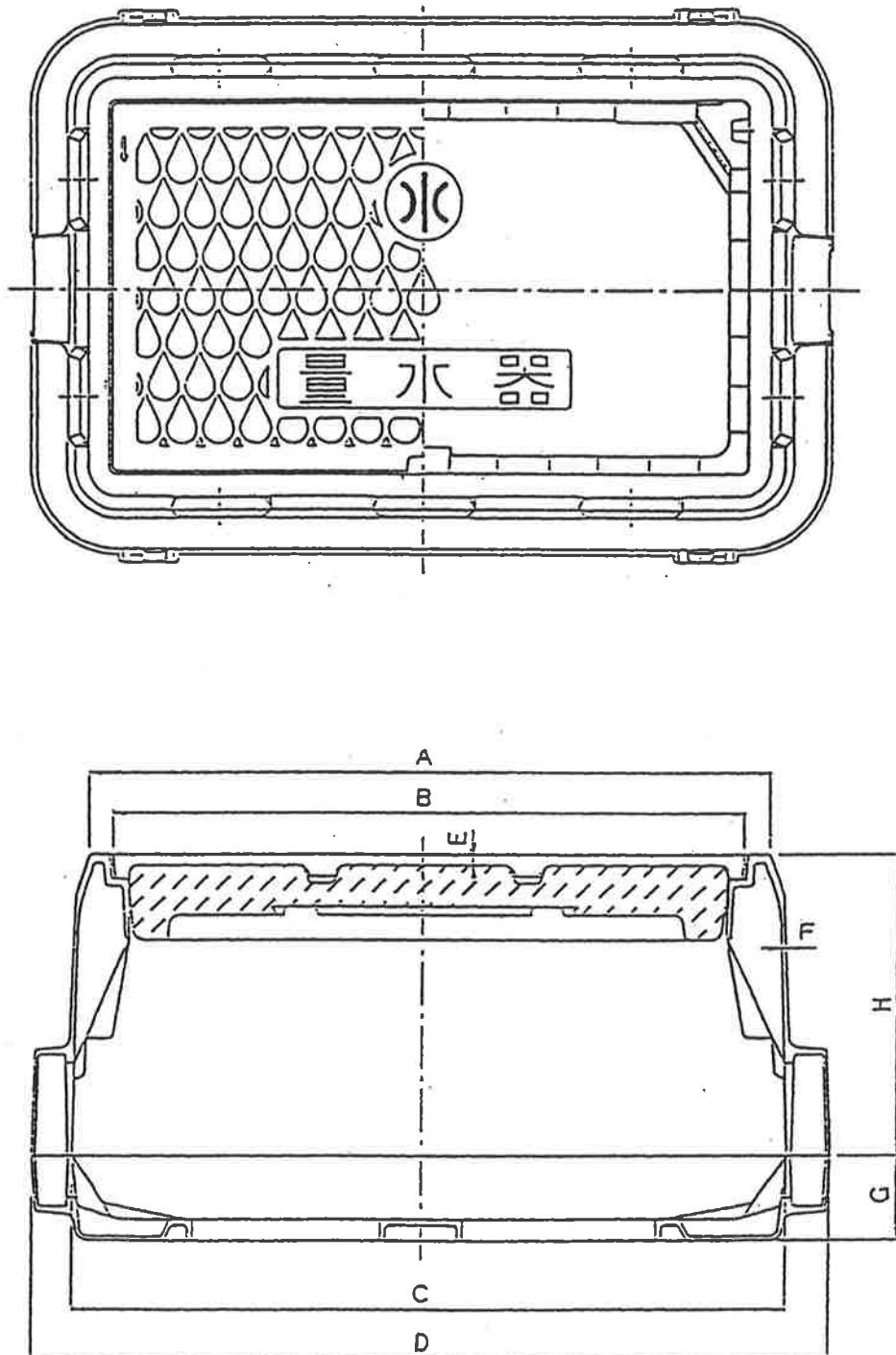
(注) 縦断的に道路を掘削する場合で本管より取出しがある場合は全幅員本復旧する。
舗装の残地幅員が 1 m 未満の場合は、残地箇所まで舗装復旧すること。

図—27.5

27.メータボックス構造図

地下式メータボックス (φ13~50)

平面図・側断面図



※ φ50については、城島・三瀦地区のみ使用する。

地下式メータボックス (φ13~50)

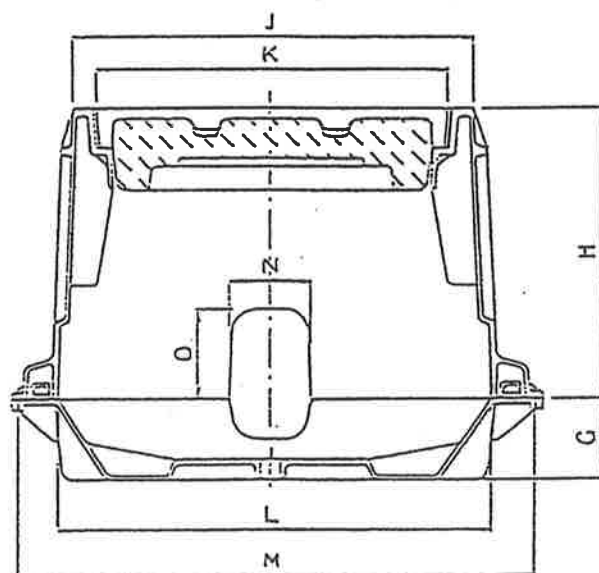
寸法表・正断面図

鋳鉄製メータボックス

口径	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	O
13・20	400	370	420	470	7	2	50	180	250	220	270	320	50	55
25	476	440	504	554	7	3.5	50	180	266	230	294	344	50	55
40	560	520	580	640	10.7	3	60	200	330	290	350	410	80	40
50														

樹脂製メータボックス

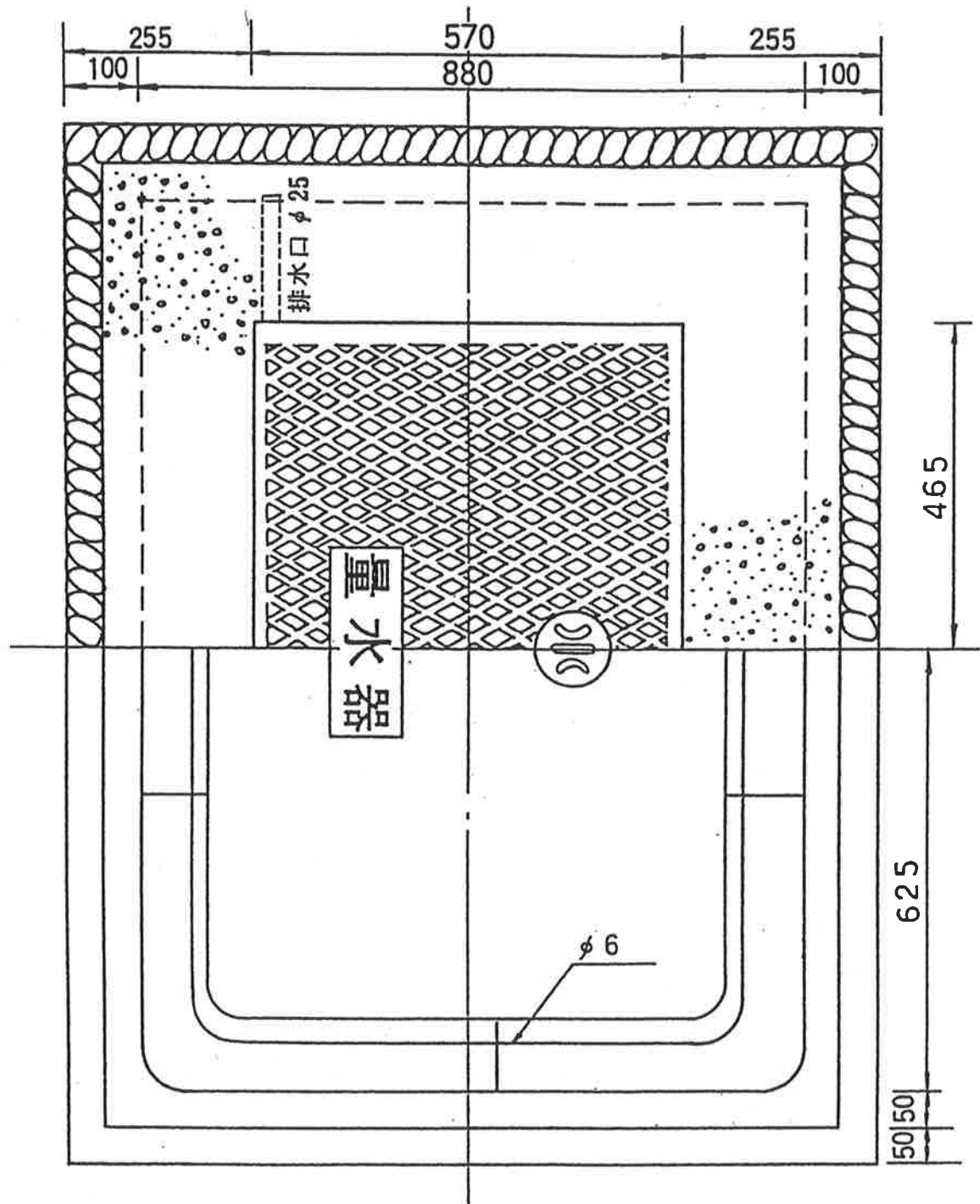
口径	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	O
13・20	400	370	420	470	7	2	50	180	250	220	270	320	50	55
25	476	440	504	554	7	3.5	50	180	266	230	294	344	50	55
40	540	491	560	626	7	4	50	210	300	251	320	388	50	70
50														



※ φ50については、城島・三潁地区のみ使用する。

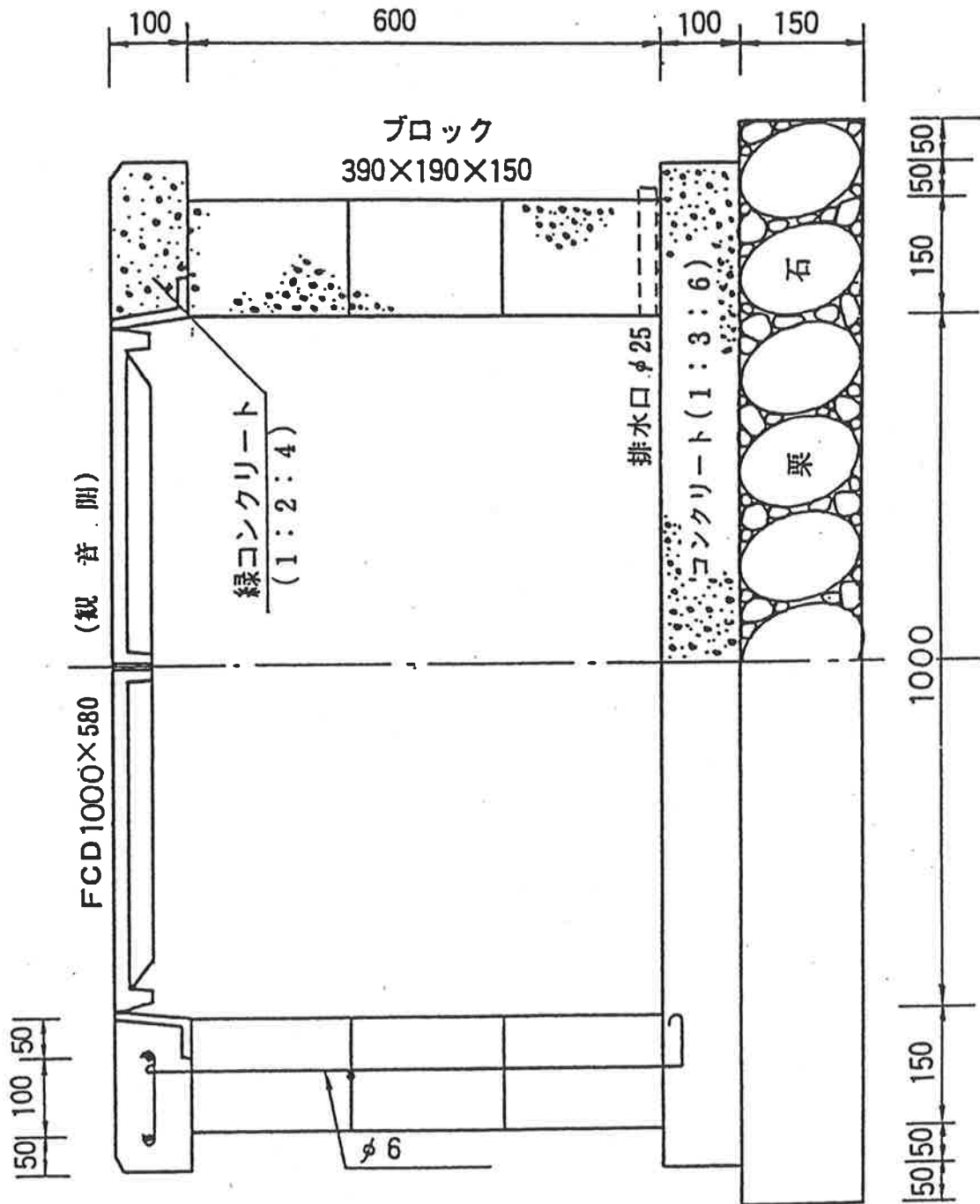
メータ室 (φ50)

平面図



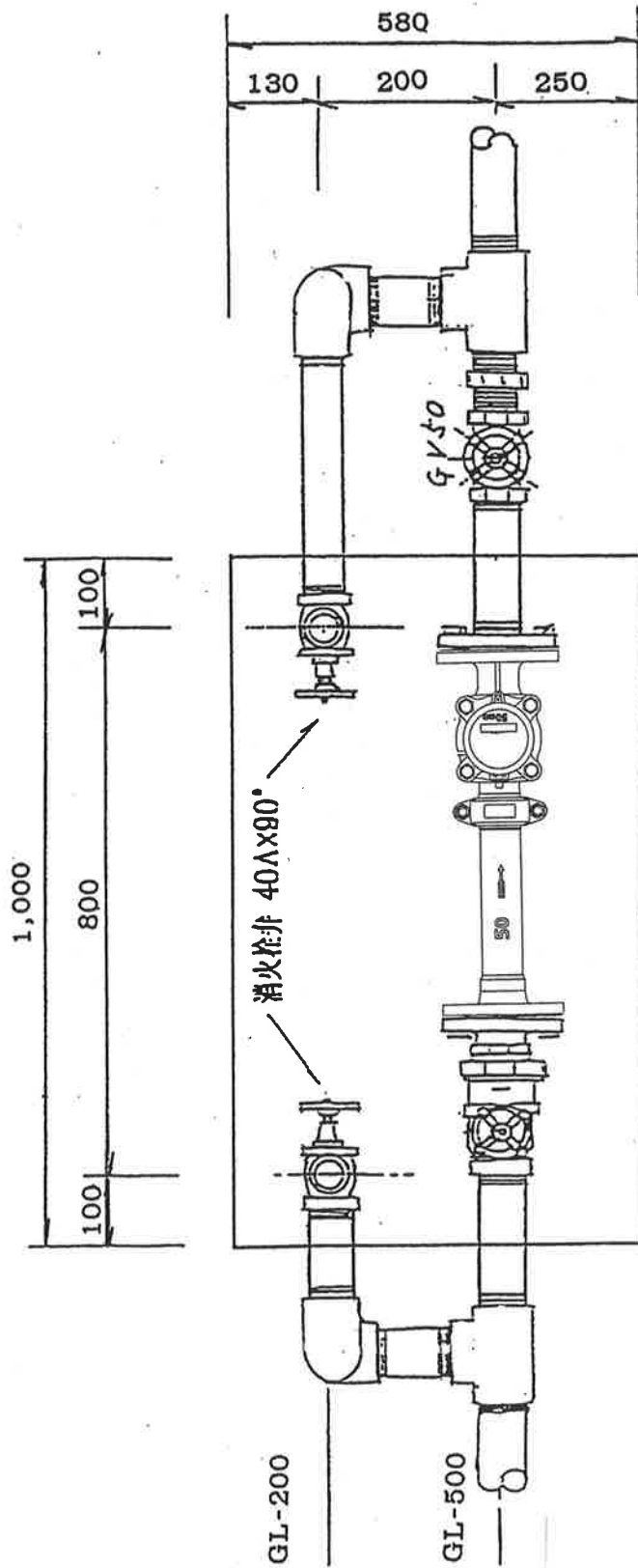
メータ室 (φ50)

断面図



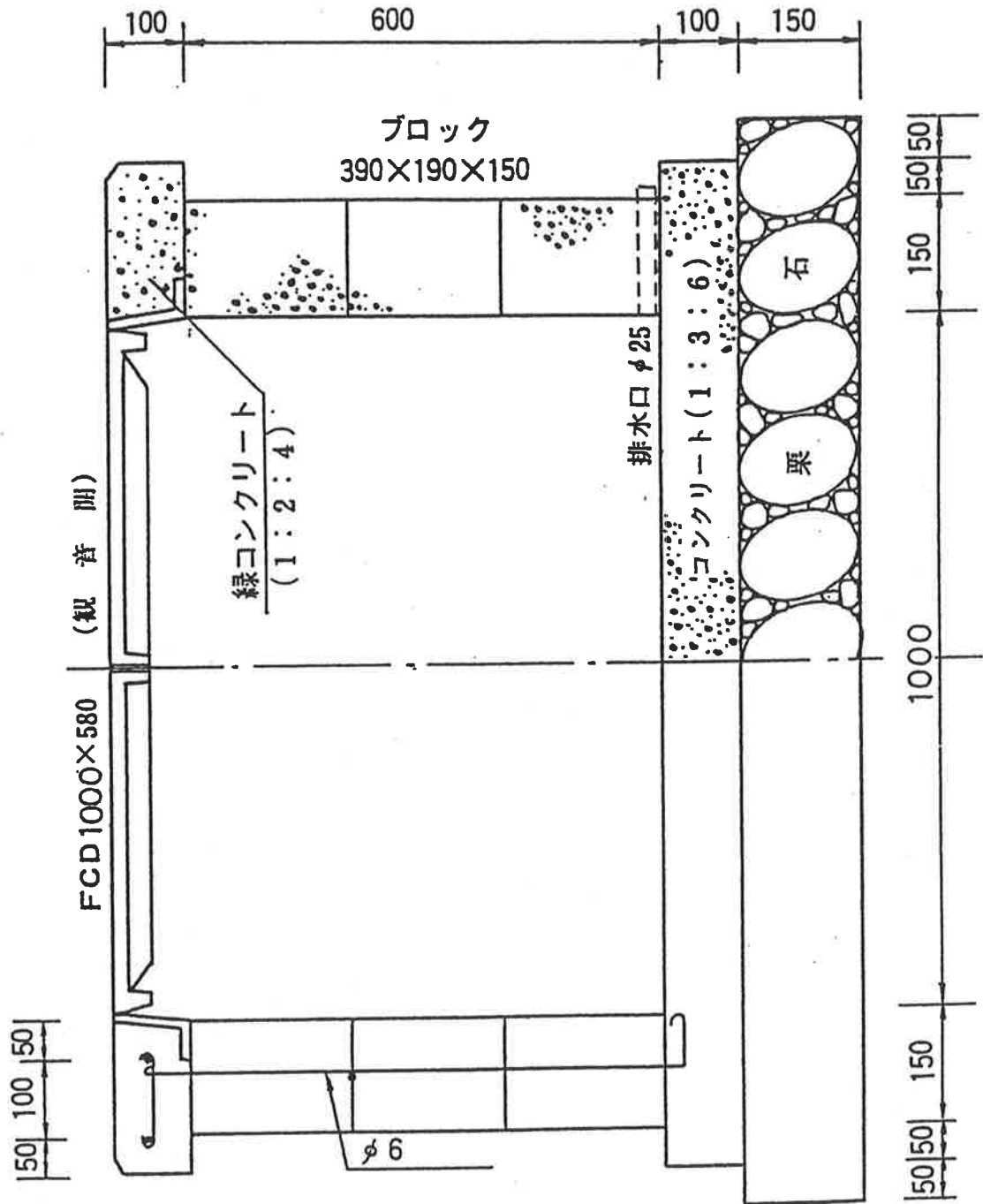
メータ室 (φ50)

平面図 (バイパスφ40設置)



メータ室 (φ50)

断面図



メータ室 (φ50)

平面図

